

## 平成27年度中部ブロック会議開催報告

平成27年10月17日(土)、新潟市のANAクラウンプラザホテル新潟で、新潟県が事務局担当で中部ブロック会議を開催しました。本部から福山同窓会長を、大学から浅利学長を来賓としてお招きし、中部ブロックの8支部から21人が参加しました。

会議では、1)同窓会の現状及び最近の学園情報について、福山同窓会長と浅利学長からお話いただきました。福山同窓会長は、同窓会員数の減少が課題であること、その原因の一つに複数の学部・学科ができて総合大学化し獣医学部と他の学部の卒業生との連携がとれていないことが会員数の減少の要因の一つであること、そしてその対策として支部の副支部長に各学部の代表者を据えることや、老壮青のバランスをとることが必要とお話しされました。浅利学長は、麻布大学の人気が少し落ちてきており、その対策として麻布ブランドを確立するため、広報と卒後教育セミナーの開催計画があること、日本アジア青少年サイエンス交流事業「桜サイエンスプラン」による国際交流を進め、外国から大学院生を呼び込みたいとのことでした。また、入試改革を進め、同窓会とのつながりをより深めたいとのことでした。



質疑では、今までは大学や本部と、あるいは支部相互の情報交換が主体であったブロック会議でした。今回、中部ブロック選出の大学の評議員・理事を担当されている宮澤評議員から、支部から学長に直接意見を言えるこの機会を活用すべきとの提言があり、更に入試において同窓会枠をつくるよう要望すべきでないかと意見がありました。現在、獣医学科の学生の中で、福井、石川、富山、新潟の出身学生は各県1人か2人しかいないとなると、同窓会が維持できず、将来中部ブロック会議が開催できなくなること、地方の同窓会が潰れることが危惧されると話されました。皆、心の奥ではそう思っている、結局時流がそうなっているので仕方がないと思っていることと思います。なかなか難しいことかもしれませんが、同窓会と大学で検討していかなければいけない課題と強く認識されました。宮澤先生の意見につられ、多くの意見が出て活発なブロック会議となりました。

次に、2)各支部の活動状況について、各支部から報告がありました。支部でそれぞれ地道に活動していますが、維持会員の確保が難しいことが共通の課題でした。



3)今後の中部ブロックの運営について、ブロック選出の評議員の宮澤先生が2期勤められ、退任される意向であるため、ブロックからの評議員の推薦者を決める必要がありました。岐阜県支部から、柴田支部長を推薦したいとの意見があり、承認されました。また、麻布獣医学会の学外運営委員について、2年間長野県支部担当でしたが、来年から2年間、新潟県支部から選出することで承認されました。さらに、4)本部同窓会の会則に合わせるため、麻布大学同窓会中部ブロック会議運営要領の一部改正が承認されました。



来年度は長野県での開催を確認して、議事が終了しました。例年がない、活発な意見交換があり、予定した時間をかなり超えて終わりました。

懇親会では元応援団の指揮による寮歌、記念祭の歌でたいへん盛り上がりました

新潟県支部事務局 田村 務  
(昭和58年卒)